

標 題 : Effects of High-monounsaturated Fatty Acid Enteral Formula versus High-carbohydrate Enteral Formula on Plasma Glucose Concentration and Insulin Secretion in Healthy Individuals and Diabetic Patients  
高 1 価不飽和脂肪酸の経腸栄養処方と高炭水化物の経腸栄養処方の健康人と糖尿病患者における血漿グルコース濃度およびインスリン分泌に対する影響

---

著 者 : J. Yokoyama, et al. (慈恵大学 第三病院 内科)

---

掲 載 誌 : J. Interntional Med. Res. 36: 137S-146 (2008)

---

要 旨 : 食後の血漿グルコース濃度およびインスリン反応に対する高 1 価不飽和脂肪酸 (MUFA) と高炭水化物の経腸栄養処方の影響を、日本人の 2 型糖尿病患者および健康な日本人ボランティアで我々は研究した。

20.8 ± 1.2 歳の健康なボランティア 10 人および 58.6 ± 7.7 歳の血糖管理の良い (グリコシル化ヘモグロビン < 7%) 糖尿病患者 12 人を 12 時間絶食後ランダムに高 MUFA または高炭水化物の処方に割当てた。

患者を 7 日後に別の処方に切替えた。

食後の血漿グルコース濃度およびインスリン反応は、高 MUFA 処方摂取後の全ての被験者で高炭水化物処方と比較して有意に低かった。

2 つの食事群間で、遊離脂肪酸、トリグリセリド、および血漿グルカゴンに、有意差が認められなかった。

結論として、高 MUFA 経腸栄養処方は高炭水化物経腸食と比較して、2 型糖尿病患者および健康な被験者で誇張したインスリン分泌なしに食後の高血糖を抑制する。

---